

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11290

平井歴史資料室公開事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	平井歴史資料室公開事業		

事業種別	継続		関連個別計画	平井複合館基本構想		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 福田 幸誠	435-1194
事業実施の根拠法令			関連課	人権同和施策課 子育て支援課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	平井地区に設置予定の平井複合館内に、発見された埴輪窯のレプリカを展示し、歴史学習の場とする。		平井地区に設置予定の平井複合館内に、発見された埴輪窯のレプリカを展示し、歴史学習の場とする。			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	平井複合館設置に係る3課（人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課）で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。	平井ふれあいセンター内の平井歴史資料室の維持管理及び運営を行い、歴史学習の場とする。 入室者数 1,066人	平井ふれあいセンター内の平井歴史資料室の維持管理及び運営を行い、歴史学習の場とする。 入室者数 1,026人	平井ふれあいセンター内の平井歴史資料室の維持管理及び運営を行い、歴史学習の場とする。	平井ふれあいセンター内の平井歴史資料室の維持管理及び運営を行い、歴史学習の場とする。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	11,350	10,355	886	1,208	1,076	741	1,188	0	1,188	0
伸び率(%)	△87.6%	△88.2%	△92.2%	△88.3%	21.4%	△38.7%	10.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,973	6,361	8,720	9,810	9,900	9,743	8,093	0	8,093
	正規職員以外	0	3,616	2,373	2,373	2,377	2,377	2,377	0	2,377
	小計	5,973	9,977	11,093	12,183	12,277	12,120	10,470	0	10,470
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	9,500	8,700	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,850	1,655	886	1,208	1,076	741	1,188	0	1,188	0
所要人数(人)	正規職員	0.77	0.82	1.12	1.26	1.26	1.24	1.03	0.00	1.03
	正規職員以外	0.00	1.90	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	0.00	1.23
主な予算内訳	光熱水費 399千円、管理委託料 230千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
平井複合施設建設関連事業	件	目標値	1	0	0	0	0
		実績値	1	0	0	0	0
		達成度(%)	100%	%	%	%	%
開場日数	日	目標値		298	299	299	299
		実績値		292	293		
		達成度(%)	%	98%	98%	%	%
平井複合施設建設関連事業	件	目標値	1	0	0	0	0
		実績値	1	0	0	0	0
		達成度(%)	100%	%	%	%	%
平井歴史資料室入室者数	人	目標値		1500	1500	1500	1500
		実績値		1066	1026		
		達成度(%)	%	71.1%	68.4%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	開館当初に比べ入室者数が減少しているが、小学生が参加できるイベント等を開催し、入室者数の増加を図っている。
見直し・改善内容	より多くの学校等の団体に歴史教育の場として利用してもらえるよう広報していく必要がある。